

希望に満ちた未来に向けて

持続可能な社会の実現に貢献し、企業価値の中長期的な向上を図ります。

CSRレポート発刊にあたって

当社グループは1919年の創業以来、インテリアを通じて人々の心豊かな空間環境づくりに貢献すべく事業活動を行っております。住宅からオフィス、学校、病院、宿泊施設、商業施設など、あらゆる市場をターゲットとしており、ビニル系床材・カーペット・壁装材・カーテンの製造を担うプロダクト事業と、当社商品を含むインテリア資材の販売・施工を担うインテリア卸および工事業の2つのセグメントで事業を推進しております。

近年、気候変動にともない激甚化する自然災害や新型コロナウイルス感染症に代表される疫病の蔓延など、様々な環境・社会問題が世界的に顕在化しております。その中で当社グループは、モノづくり技術を活かした環境負荷低減への取り組み

みや従業員が安心して働ける労働環境の整備など、事業活動に関わるすべてのステークホルダーの皆さまにとって希望に満ちた未来をつくっていくことが使命であると考えております。

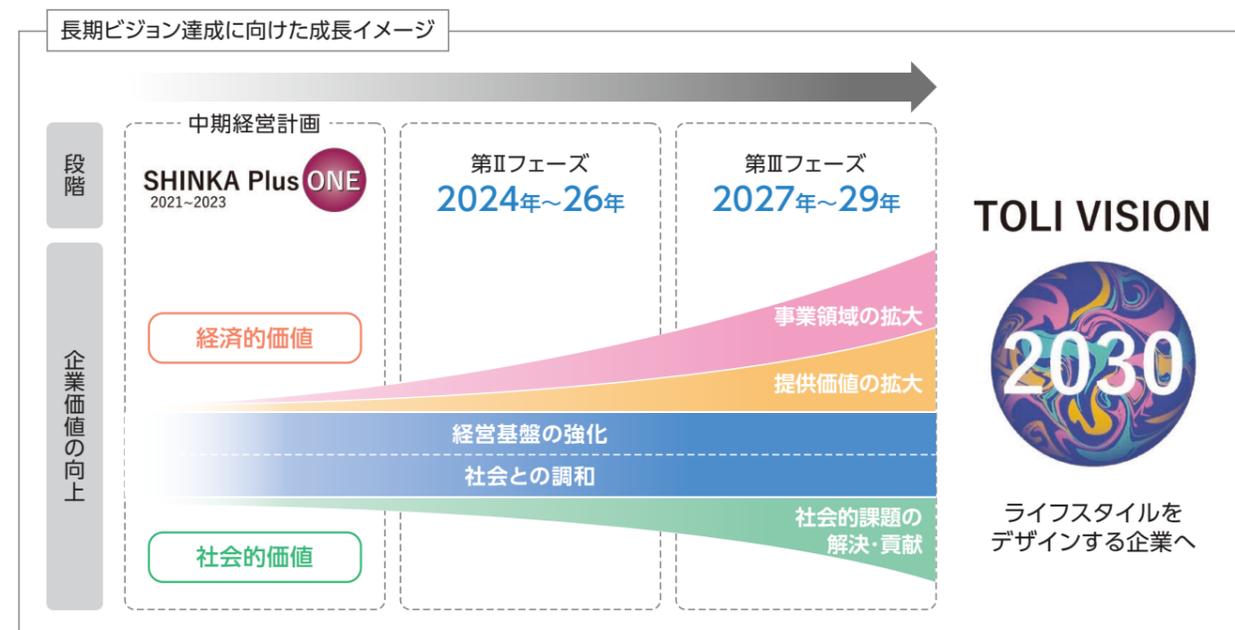
当社グループはこれまで、社会的責任を果たすべく、様々な取り組みを実行してまいりました。それらの取り組みをステークホルダーの皆さまへ発信し、当社グループへのご理解を深めていただくことを目的に「東リCSRレポート」としてご報告いたします。

ステークホルダーの皆さまからの更なる信頼を得られますよう、グループが一体となったCSR活動に取り組んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

東リグループの長期ビジョン

人々のライフスタイルは時代とともに日々変化し続けており、気候変動の影響やコロナ禍により、その変化スピードは増す一方となっております。そのような状況の中、当社グループは2030年のあるべき姿＜TOLI VISION 2030＞を掲げ、ライフスタイルをデザインする企業への進化を図ります。創業から百年の歴史で積み上げたモノづくりのレガシーを礎に、人々

の生活になくはならない価値を創造し続け、あらゆるシーンにおいて人々のライフスタイルをデザインする企業を目指します。長期ビジョンを達成するために、経済的価値の拡大のみならず、社会的価値拡大との両立を図り、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを更に強化してまいります。



代表取締役社長

永嶋元博

長期ビジョン達成に向けて対処すべき社会課題

Environment 環境

当社グループは、皆さまの生活に密接に関わるインテリア商材を製造・販売しております。日々の生活を潤す「安心・安全」な商品の開発・提供は最重要課題のひとつです。近年、環境保全やシックハウス対策など、健康にまつわる視点から使用原材料に関わる様々な環境規制が施行されております。当社グループとしては、法的規制への対応はもとより、更にもう一段踏み込んだ自主的な対応を目指しております。また、当社グループには地球環境の保全に繋がる事業活動を推進する責務があります。業界をリードする企業として、モノづくりの過程で発生する「温室効果ガス」や「産業廃棄物」の削減に努めます。特に、産業廃棄物削減に向けたリサイクルの推進は大きな課題であり、工場内リサイクルや使用済み商品のリサイクルに注力し、サプライチェーン全体における産業廃棄物の削減に貢献してまいります。

Social 社会

当社グループは共生社会の実現に向けて、すべてのステークホルダーの皆さまとのより良い信頼関係の構築を目指しております。

お客様のライフスタイルに合った、高品質で高付加価値の

商品・サービスをご提供するため、お取引先様とのコミュニケーションを基礎として、お客様目線でのモノづくりを商品開発の中心においております。

従業員に対しては、安全で働きやすい職場環境づくりに努め、多様性を尊重し、一人ひとりに合った能力開発プログラムの設計やキャリアプランの実現に向けた制度づくりにも注力しております。

また、建設インテリア業界の発展や地域社会の芸術文化・教育・スポーツの振興にも尽力し、ステークホルダーの皆さまと共に社会に貢献してまいります。

Governance 企業統治

持続的な企業価値の向上を目指すとともに、組織の社会的責任を果たすためには、健全なガバナンス体制の構築が重要です。2021年度、コーポレートガバナンス・コードが改訂され、益々企業とステークホルダーとの関係性、経営の透明性が重要視されています。当社グループでは、経営監督責任と執行責任を明確にし、経営の規律を高めています。引き続き、すべてのステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションを深め、期待と信頼を担うにふさわしい企業グループを目指してまいります。

▶ 中期経営計画におけるCSR活動の位置付け

長期ビジョン<TOLI VISION 2030>の実現に向け、その第1フェーズである中期経営計画「SHINKA Plus ONE」が2021年度よりスタートしました。「SHINKA Plus ONE」は、5つの重点戦略と11の取り組みテーマで構成し、取り組みテーマごとに具体的な実行戦略を掲げております。

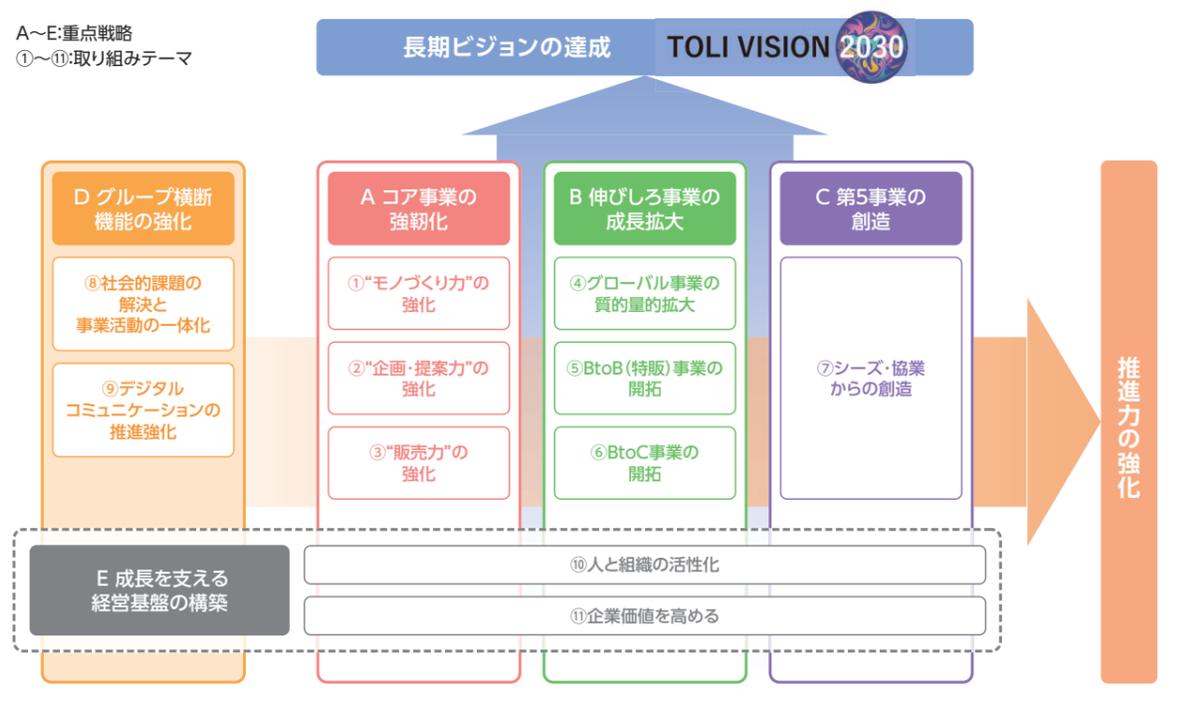
その中で、CSR活動の強化テーマでもある「⑧社会的課題の解決と事業活動の一体化」は、すべての重点戦略に横ぐしを通す重要な位置付けとしました。各戦略の実効性をCSR視点で再評価し、当社グループとしての取り組みを効率的に推進すべく2021年度よりCSR推進部を新設し、経営戦略本部が統括することといたしました。社会的課題の解決は、特定の部門が担うものではなく、組織間の連携が重要であり、従業員一人ひとりが「ジブンゴト」として捉えるものでなければなりません。そのような意図から2021年度より、社会貢献のアイデア提案箱として「+vo!ce(プラスボイス)」という社内提案制度もスタートしています。

「こんな会社になりたい」「こんな取り組みで社会に貢献できるのではないか」といった従業員一人ひとりの声を集約し、会社が有する様々な資産の有効活用を社会貢献に繋げていく、そのような取り組みもCSR活動の一環として進めてまいります。



中期経営計画「SHINKA Plus ONE」

A～E:重点戦略
①～⑪:取り組みテーマ



沿革

1919年～ 創の時代

当社は、国産初のリノリウム製造会社「東洋リノリウム株式会社」として1919年に設立されました。当時、全く新しい床材であったリノリウムは、建築の近代化とともに急速に普及し、住宅や船舶、車両など、市場の範囲を拡大しました。

戦後は、石油化学産業の台頭にもなって塩化ビニル樹脂を利用した床材開発を進めるとともに、繊維系床材であるカーペット市場にも進出しました。ビニル床シート、ビニル床タイル、ロールカーペット、タイルカーペットを主軸とする“総合床材メーカー”としての基盤を確立し、足元から人々の暮らしを支えた時代は、まさに現在の当社グループの原点となる「創」の時代です。



- 1919 東洋リノリウム株式会社設立
- 1920 国産初のリノリウム完成
- 1957 ビニル床タイル事業へ進出「ビニラートタイル」発売
- 1967 繊維系床材事業へ進出ニードルパンチカーペット「O.I.C.」発売
- 1970 コントラクトカーペット「グレース」発売
- 1972 国産初のクッションフロア「CFシート」発売
- 1982 タイルカーペット「グランドアート GA-100」発売



1984年～ 進の時代

創業以来の様々な技術・商品開発によって、総合床材メーカーとして地歩を築きました。そして、更なる事業展開として「トータルインテリア」を掲げ、カーテン事業と壁装材事業へ進出しました。床という平面から空間という立体的かつ総合的な次元へと、当社グループの事業活動は更なる進化の時を刻みはじめました。

また、ビニル系床材やカーペットを中心に意匠性・機能性を高く評価され、グローバル市場を開拓することとなった時代でもあります。高い技術力やデザイン力によって生み出された商品は、多くのグッドデザイン賞を受賞しました。モノづくりを通じて、新たな価値を提供し続けてきた、まさに「進」の時代です。



- 1984 カーテン事業へ進出「東リカーテン Vol.1」発売
- 1986 壁装材事業へ進出紙壁紙「バザラダン」発売
- 1990 新シンボルマーク決定「東リ株式会社」へ社名変更
- 1991
- 2000 環境共生を目指すことを宣言する「東リエコスピリット」を発表
- 2012 業界の新たなスタンダードを創り出したノーワックスビニル系床材東リ「NWシリーズ」発表
- 2014 アジア市場を中心とする「JAPAN TOLI」ブランドの浸透を目指し東璃(上海)貿易有限公司を設立
- 2017 発売から35年を迎えた「GA-100シリーズ」が累計販売数1.7億㎡を達成(単一商品では世界最高水準)
- 2018 国産初の本格的な高意匠単層ビニル床シート「ヒトエ グランザ」「ヒトエ ファイン」発売
- 2019 東リ「創業百年」



2020年～ 志の時代

大正、昭和、平成から令和へと様々な時代を経て、2019年に大きな節目である「創業百年」を迎えました。引き続き、百年の歴史の中で培ってきたモノづくりのレガシーを基盤としつつ、時代が求める商品やサービス、ソリューションを提供することで、社会の信頼に応え、人々の心豊かな空間環境づくりに貢献してまいります。

長期ビジョン<TOLI VISION 2030>策定
中期経営計画「SHINKA Plus ONE」スタート

- 2020 グローバル戦略の新たな生産拠点として江蘇長隆裝飾材料科技有限公司での合併プロジェクトがスタート
- 2021

